

## 球磨川水系流域治水プロジェクト及び令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン推進に向けた 流域住民の皆様を対象とした説明会（御質問への回答）

日時：令和3年9月2日（木）午後7時～

会場：人吉市スポーツパレス

参加者：51名

※上記説明会で頂いた御質問等に対する回答を種別ごとに掲載しています。

※御質問の内容については簡潔に概要としてまとめています。

※回答内容については、当日の回答内容を基本として簡潔に整理したのですが、必要に応じて一部、補足説明を追記しています。

### 【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要）   | 御質問への回答   | 回答者                           |
|---|---|-------------------------------|
| 治水施設が役に立たなくなったから、流域治水に変えると説明しているが、どのように治水施設が役に立たなくなったかということの説明が必要がある。                               | 流域治水に国土交通省全体で舵を取り、各省庁連携して、この治水を進めるよう転換を図っています。<br>その背景としまして、気候変動があります。令和2年7月洪水も気候変動が影響しているといわれています。全国各地で計画していた流量や雨量を超える洪水が頻発している状況にありますので、河川対策をしっかりとやっていきますが、それだけでは、対処することが困難といったことがありますので、流域治水の様々な施策等を説明しました。<br>流域のあらゆる関係者の方々と流域治水を進めていこうということで、本日も説明しているところです。 | 国土交通省<br>九州地方整備局<br>八代河川国道事務所 |
| 緑の流域治水の「緑」の意味が今回の説明では分からない。球磨川・川辺川は誇りであり、絶対に川辺川ダムは建設しないでほしい。  | 球磨川流域は、自然環境が非常に豊かで、その自然環境との共生を図りながら、森林整備や遊水地、田んぼダムといった対策を含めた、流域全体の総合力で、安全、安心を実現していく。そういった取組みが緑の流域治水であり、今回お示した内容を、資料の中にも盛り込んでいると考えております。   | 熊本県<br>企画振興部<br>球磨川流域復興局      |
| これまで人吉市付近の川の堆積土砂は撤去しないということだったが、それはなぜだったのか。そのため、令和2年7月4日以前の河床の流下能力が下がっていたと思う。土砂がどれだけ溜まっていたか教えてほしい。  | 「ダムによらない治水を検討する場」を平成21年から開催し、その中に人吉地区の掘削のメニューも入っていました。それを受けまして、平成21年から令和元年度まで、流域全体では64万㎡の堆積土砂撤去、人吉地区では31万㎡を撤去しています。流域治水協議会の中でも公表しています。  | 国土交通省<br>九州地方整備局<br>八代河川国道事務所 |
| 万江川の堆積土砂を撤去いただいたが、以後また雨が降って溜まってきている。また撤去してほしい。  | 万江川の堆積土砂については、令和3年度の出水期に土砂の堆積がまた発生しております。<br>出水期後に、具体的に測量して、対応して参りたいと考えています。  | 熊本県<br>県南広域本部<br>球磨地域振興局      |
| 資料の浸水想定マップには球磨川と胸川が記載されているが、万江川、山田川、御溝川の氾濫が無視されている。それらの分析を全くしないで、安全です、命を守ります、ということがどのようなことが説明して欲しい。 | 県では、水位周知河川を先行して作成していましたが、現在は全ての河川につきまして、L2規模の浸水想定区域図の整備作業を進めています。球磨川水系におきましては、令和2年5月末に公表させていただいています。  | 熊本県<br>土木部 河川港湾局<br>河川課       |
| 自分の住む地域が遊水地の候補地になっているが、遊水地ができた後、どのような自然環境になると考えているのか。地元住民や地権者の方々の意見を積極的に取り入れ、お互いに十分理解し合った状況で進めてほしい。 | 遊水地については、令和3年3月から地元の方々に説明し、了解をいただいて測量や地質調査を実施させていただきました。<br>様々な調査結果をもとに、どのような遊水地の形状、形式が良いのかを、地元の方々の意向もお伺いしながら、市の復興まちづくり計画等と連携を図りながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。これから、様々な御説明をさせていただく場面が多くなると思いますので、様々な御意見をいただけたらと思います。   | 国土交通省<br>九州地方整備局<br>八代河川国道事務所 |
| 災害後、早急に農地復旧を進めている中で、国や県から遊水地の計画を提示された。それぞれの行政機関で矛盾した動きをしていると感じる。                                    | 遊水地と農地復旧等の関係だと思います。遊水地につきまして、地権者の方々の意見をしっかりと聞いてほしいという意見もございました。遊水地を整備するに当たっては、候補地を調査し、地元の方々の御意見を伺い、工事をするということが、時間がかかることも想定されます。<br>また、皆様方の生活再建、それも重要なことだと思いますので、農地の復旧と並行して、遊水地計画についても協議させていただきたいと考えています。  | 国土交通省<br>九州地方整備局<br>八代河川国道事務所 |

【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要）  | 御質問への回答   | 回答者                                    |
|--|---|--|
| <p>説明資料において、例えば市房ダムの効果について間違っただ数字で説明をしている。明らかに間違っただ数字は書いてほしくない。</p> <p>川辺川ダムは命と清流を守るとあるが、ダムによるピーク流量の低減効果など、検証が少ないのではないのか。</p> <p>今回の川辺川ダムのダムサイトの流量が3,000トンとしているが、そうなると平均流速が約12mくらいになり、不可能な数値と考えるが。</p> | <p>川辺川ダム地点での3,000m<sup>3</sup>/sという数字に対する質問ですが、令和2年7月洪水では、球磨川流域全体で記録的な豪雨となり、川辺川上流の八代市の久連子観測所等で観測史上最高雨量を記録しました。一方、川辺川の柳瀬地点、柳瀬橋の下流の地点で流量観測したところ、実測流量の観測で3,400m<sup>3</sup>/sでした。そういった雨量や観測した流量等を、流出解析という方法で計算して、川辺川ダム地点の流量3,000m<sup>3</sup>/sを推定しました。</p>  | <p>国土交通省<br/>九州地方整備局<br/>八代河川国道事務所</p> |
| <p>流水型ダムの規模もはっきりしていないのに、ダムがあれば浸水範囲が約6割減少するなどの効果だけが先に説明されるはおかしい。</p>  | <p>川辺川ダムの効果について、6割などの水位低下の根拠ですが、あくまでも従前の川辺川ダム、貯留型ダムの時に設定していた操作ルールで検証したところ、そういった効果があるという説明になります。今回は流水型ダムになりますので、操作ルール等をしっかり検討し、効果やリスクを改めて説明、公表させていただくことになると思います。</p>   | <p>国土交通省<br/>九州地方整備局<br/>八代河川国道事務所</p> |
| <p>資料の中の流水型ダムのいんちきな説明はやめてほしい。流水型ダムは川の中に大量のコンクリートを流し込まないと成り立たない。まるで普通の川と同じようなモデルになっている。どれだけコンクリートを川の中に流し込むかという説明をすべきである。</p>  | <p>流水型ダムについて、資料にありますけども、あくまでも事例でございます。この流水型ダムにつきましては、本年度から、本格的に調査検討を始めるということで、蒲島知事からも、「治水と環境の両面に」ということでしたので、環境面では、環境の委員会を立ち上げてまして、そこで議論いただいています。また、治水につきましても、操作ルールや構造等をしっかり検討した上で、公表させていただきたいと思っています。</p>   | <p>国土交通省<br/>九州地方整備局<br/>八代河川国道事務所</p> |
| <p>市房ダムでは過去35年間で3回も緊急放流されている。緊急放流の危険性を住民に説明する必要がある。</p>  | <p>緊急放流の時の下流の影響ですが、下流の河川では、ダムの洪水調節による低減がなく、ダムに入ってきた量と同じ量が川を流れているような状況になっています。そのため、河川水位の上昇や氾濫の程度は、降雨の状況によって異なってくるようになります。過去3回の緊急放流の実績等については、参考資料2に掲載しています。</p> <p>【補足説明】<br/>緊急放流までに下流の住民の皆様には避難などの防災行動をとっていただきたいと考えています。ダム操作や効果、緊急放流の前に避難していただくことの重要性などについては、今後も様々な機会を捉えて説明して参ります。</p>  | <p>熊本県<br/>土木部 河川港湾局<br/>河川課</p>       |
| <p>令和3年7月10日に川内川の鶴田ダムでは、結局はなかったが、緊急放流の事態に陥り、国の担当者が怖いから早急に逃げてくださいと訴えていた。本日の説明と異なるが、どのように考えているのか。</p>  | <p>市房ダムのパンフレットに記載しておりますが、緊急放流とは、ダムに水を溜めていて、雨が降り続けるといずれダムが満杯になりますが、ダムが満水になる前に、ダムの下流に放流する量を徐々に増やして流入量に近づけていく操作のことを言います。ダムの水が溢れそうだから、ダムの水位を下げるために貯めた水を一気に放流するものではありません。ダムの水は貯め込んだままで、流入する流量よりも多く放流することはありません。最終的には、流入量と同じ量を放流することになりますので、ダムの水は一定に保たれます。</p> <p>【補足説明】<br/>緊急放流を行うと、ダム下流へ放流する量は徐々に増えますので、それまでに下流の住民の皆様には避難などの防災行動をとって頂きたいと考えています。</p> | <p>熊本県<br/>土木部 河川港湾局<br/>河川課</p>       |
| <p>自宅が浸水した5回とも朝8時前である。夜、市房ダムに水を貯めすぎて、朝放流しているのではないのか。ダムの管理次第で水害は防げるのではないのか。管理を徹底すれば、ダムの弊害はないと思うので、しっかりと管理してほしい。</p>   | <p>ダムの放流量や水位の情報については、県ホームページ（熊本県統合型防災情報システム）でリアルタイムな情報を確認することができますので、避難の際に御活用ください。</p> <p>【補足説明】<br/>市房ダムの操作は、市房ダム管理所が常駐し行っています。ダムに水を貯めすぎて、朝から放流しているということはありません。</p>  | <p>熊本県<br/>土木部 河川港湾局<br/>河川課</p>       |

## 【球磨川流域の治水対策について】

| 御質問（概要）   | 御質問への回答   | 回答者  |
|---|---|--|
| <p>瀬戸石ダムを、早く国の方針で撤去してもらいたい。そうすると、鮎もウナギも上がってくるし、JR肥薩線も二度とこういう大災害にはならない。国・県から撤去について要望してほしい。</p>   | <p>JR肥薩線の復旧について、JR九州におかれましては、復旧・復興の算定や復旧方針を検討中と聞いています。球磨川流域の治水の基本計画や水位が分かった段階で復旧の費用や方向性を示されると報道等でも聞いていますので、しっかり注視しながら、県としてどういう支援ができるのか検討していきたいと考えています。</p> <p>また、JR九州には、沿線の自治体の方も要望に行ってもらっていますので、県としても自治体としっかり連携しながらやっていきたいと考えています。</p> <p>瀬戸石ダムについて、県では令和3年2月に電源開発に対して、堆積土砂の撤去、ダムの操作体制の強化、放流警報方法の改善、調査結果や住民の要望への適切な対応等説明責任などを要請しています。今後も取り組みの報告を求めて参ります。</p> | <p>熊本県<br/>企画振興部<br/>球磨川流域復興局</p> <p>熊本県<br/>土木部 河川港湾局<br/>河川課</p> |
| <p>今回の洪水は森林の荒廃が影響していると感じているが、資料3の林地等の復旧箇所の15箇所はあまりに少ないのではないのか。今後、調査等によって増えていくのか。</p>            | <p>質問のありました15箇所は、令和2年7月豪雨で災害が起きた、山が崩れたり、土砂が流出したところの民有林の復旧箇所になります。これ以外に、国有林が資料1の13ページの右下の図に赤色で示した所にあります。それ以外の通常の山地災害が危惧される所は、県のホームページに山地災害危険地区として区域をお知らせしています。</p> <p>これらの箇所につきましては、今後、計画的に治山事業を実施していきますので、これ以外にも計画はあると理解していただければと思います。</p>  | <p>熊本県<br/>県南広域本部<br/>球磨地域振興局</p>                                  |
| <p>山の保水力が劣ってきていると思う。林業のあり方を考えるべきである。もっと山本来の木々や植物のことをちゃんとしてほしいと思っているが、そうした取り組みをどのように進めていくのか。</p> | <p>手入れが行き届いてない山もあり、そういうところにつきましては、森林環境譲与税を使い、市町村で所有者の意向調査等を進め、森林整備につなげていこうと動いております。</p> <p>また、令和2年7月豪雨の規模の雨が降ったら、森林の保水力にも限界がありますので、それを超えてしまうと、やはり、川に水がどんと流れることになります。</p> <p>加えて、人吉球磨地域は、昔から林業を生業とした地域ですので、どうしても植えたら切るという作業が出てきます。そのため、山を育てるのに間伐もする、切ったら植えるということ、きちんとして進めていくということで計画しています。</p>   | <p>熊本県<br/>県南広域本部<br/>球磨地域振興局</p>                                  |
| <p>以前から内水排除ポンプの改修等をお願いしているが、市も国も対応してくれない。</p>   | <p>大柿の樋門につきましては、大変御心配をかけています。今後とも、国、県と協議を続けていきたいと考えています。</p>  | <p>人吉市<br/>企画政策部 企画課</p>   |

## 【復旧・復興の取り組みについて（治水対策を除く）】

| 御質問（概要）   | 御質問への回答   | 回答者                      |
|---|---|--------------------------|
| <p>現在、蟹作球場と中原校区のグラウンド球場が災害ごみの指定区域となっているが、また大災害が起きた時、その2つの区域で賄えるのか。</p> <p>また、トラックやトレーラー等がスムーズに移動できるようなシミュレーションなどを行っているのか。</p> | <p>ごみ問題につきましては、発災当初から、市民の皆様、漆田の地元の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。お詫びを申し上げます。今後のごみの仮置き場等につきましては、搬入路、運用等も含め現在検討中でございます。早く決定し、お知らせしたいと考えていますので、御理解をいただきたいと思っております。</p> | <p>人吉市<br/>企画政策部 企画課</p> |